

学 校 通 信



合唱前、指揮者の思いやりに心が和みます。



指揮者と音がピタッと合いました！

**音楽会**が終わった後に職員に話したことです。音楽会の朝、本番直前の教室の風景が好きです。期待と不安が入り混じり、みんなの意識と感情が張りつめています。子どもたちは、担任の言葉一つ一つに入り込み、じゃまものは何一つ入り込めません。そして、最後の練習。一つになります。そんな緊張を乗り越え本番を迎え、力を出し切り、指揮者の笑顔を見て、大きな拍手をいただき、達成感に浸る。そして、解放。たかだか学校の音楽会なのですが、こどもたちにとってはされどなのです。それは、音楽会はとても大きな舞台であると子どもたちが感じ、子どもと学級の成長のために必ず成功させたいと教師が決意しているからです。もしかしたら、自分の力を見てもらいたいのかもかもしれません。それも大切なことです。



一生懸命が表情に表れています。



難しい演奏のときでも、指揮者を見ることを忘れません。

そんな成長の過程が、今年の音楽会にも確かにありました。指揮をしていると、もっとこうしたらよかったなどと、もっともっとが出てくるものです。見られていた皆さんも同じ思いがあったかも知れません。しかし、今は、子どもたち自身の振り返りに寄り添いながら、ほめ、励まし、「よし、次の目標もがんばろう。」と思わせてやりたいものです。最後になりましたが、静かに、温かい雰囲気最後まで聞いていただきありがとうございました。皆さんの思いやりを嬉しく感じるとともに、この音楽会をされど音楽会と感じさせてくださるのは皆さまなのだと思います。



大きく開いた口が、美しい声を作ります。



よい姿勢は、よい音を奏でます。



「たんぽぽは落ちたところで花開く」のお話。そこでがんばることが、そこで生きることの幸せになります。



来週から朝のマラソン開始のお話。自分の目標に挑みましょう。



社高校生をお迎えして出汁まきたまご作り。いい匂い。焼き立ての美味しいこと！